

# Fantôme Kino B&W ISO 8

## 撮影と現像に関するアドバイス

アナログ写真好きの皆さんを応援することが、ロモグラフィーの大事な役割の1つ。新しい Lomography Fantôme Kino Black and White ISO 8 Film が、モノクロ写真や自家現像を楽しむきっかけとなれば嬉しいです。今回はこのフィルムでの撮影、現像、そして加工を行う際のアドバイスをお話します。

### 1. Fantôme Kino B&W ISO 8フィルムのヒント

- 晴天時屋外に相当する光量を推奨します。
- 一番明るいレンズを使用し、絞りを開放にします。
- 次に、以下の露出チャートを参考にして、カメラの設定に最適な状況を確認してください。

### 2. 三脚や、シャッターレリーズを使うと、より鮮明な写真が撮影できます。

ISO感度が「8」なので、適正な露出での撮影が重要になります。感度設定をマニュアルで操作ができるカメラ、絞りを自由に変えられる被写界深度が浅いレンズ (f/1.4 - f/2.8) を選ぶと、よりスムーズに撮影が楽しめます! 手ブレ制御付きのカメラ+レンズを使用することをお勧めします。

露出チャートはこちらからご覧いただけます。

ISO 8	手持ち			三脚						
	1/125	1/60	1/30	1/15	1/8	1/4	1/2	1s	2s	3s
快晴	f/4	f/5.6	f/8	f/11	f/16	f/22	f/32	f/45	f/64	
晴れ	f/2	f/2.8	f/4	f/5.6	f/8	f/11	f/16	f/22	f/32	f/45
曇り		f/1.4	f/2	f/2.8	f/4	f/5.6	f/8	f/11	f/16	f/22
日当たりの良い室内			f/1.4	f/2	f/2.8	f/4	f/5.6	f/8	f/11	f/16
室内			f/1.4	f/2	f/2.8	f/4	f/5.6	f/8	f/11	f/16

\* f/11より小さい絞り値の場合、シャッタースピード、1/4~1/2秒追加してください。

### 3. フラッシュを使ってみよう!

屋外でもフラッシュを使用することで、ユニークな効果が生まれるかもしれません!

### 4. 露出計を使ってみましょう

正確な露出時間を知るために、露出計を使用することをお勧めします。

### 5. 現像所でフィルムを現像する

撮影、現像についてご不明点ございましたら、[help@lomography.jp](mailto:help@lomography.jp)までお問い合わせください。

### 6. 自家現像してみる

モノクロフィルムの良さは撮影だけではなく、自家現像がしやすいのも魅力的ですよ。自家現像の場合、様々な方法を楽しむこともできます。詳しくは、2番目のセクションをご覧ください。



## 現像チャート

以下、自家現像による攪拌、それぞれの現像時間です。

現像液	希釈	温度	時間
Kodak D96	標準	20°C	6分30秒
Kodak HC 110	B	20°C	7分
Ilford Ilfosol 3	1+9	20°C	10分30秒
Compard R09	1+50	20°C	8分
Tetenal Ausgleichsen- twickler	standard	23°C	9分

以下は、さまざまな現像の仕方の例です。



D-96での現像



HC110での現像



Ilford Ilfosol 3での現像



R09での現像



Tetenal Ausgleichsentwicklerでの現像

**実験的な撮影を試してみると、いかに Fantôme Kino B&W film が多彩な表情を見せてくれるかに驚かされるでしょう!**